

滝高フロンティアサイエンス通信

海外研修特集号 [平成28年8月18日~25日]

第8号

マレーシアレポート 2日目(8月19日)

研修二日目のこの日は、マレーシアにきて最初の活動日になりました。初日の大移動のため疲れがたまっていたと思いますが、みんな朝6時半に起床し朝食をホテルでとり、朝8時にホテルを出ました。

この日最初に向かったのはマレーシアで最大の山で標高4095mのキナバル山がよく見える所まで車で約2時間移動しました。普段は余り晴れていることがなく山が見えることが少ないそうですが、私たちが訪れた時は快晴できれいに見ることが出来ました。

展望台ではみんなで記念写真を撮りました。山にはキラキラと光るものが見えたので、ガイドの方に聞いてみると岩のすき間から流れ出る水が滝になっていると話していました。



マレーシアでの研修期間中私たちのガイドをして下さったジョンさんはボルネオ島では腕利きガイドの方で他の国からの来賓にガイドをするような方でした。なので、私たちの質問には全て返答してくれたので研修期間中とても勉強になりました。

ここでは、果物や野菜が売られていて果物の王様とも呼ばれるドリアンを食べることができました。ドリアンはねっとりとしたバナナのような食感で味が感じられないほどの強烈なにおいでした。ドリアンが一度手に付いてしまうと洗ってもにおいがとれないほどでした。



その後、世界遺産に登録されているキナバル公園に行きました。ここでは、森の中に作られた道を歩きボルネオ島に生息する植物や昆虫を見ることが出来ました。

公園内ではウツボカスラを見ることが出来ました。ウツボカスラは英語で pitcher plant といい、ツボの中に貯めた酸性の粘液で虫を溶かし、捕食する食虫植物です。

公園内にはキャノピーウォークと呼ばれるつり橋が60m以上もあるような大木に付けられていました。このつり橋は地上から40mもの高さにつけられていたのでとても怖かったです。

その後、近くにラフレシアが咲いているという情報があり、私たちは運良く開花しているラフレシアを見ることが出来ました。



研修2日目を振り返って、活動日としては最初の日となりました。研修内容はマレーシア自然について学ぶことが多かったです。そして、その世界有数の動植物の数を誇る森が現在失われつつあるという問題を知ることが出来ました。